

区長に要望書を提出

1月16日、左記の要望書を高
原区長あてに提出しました。
要望は公契約条例策定等、当
面する重点要求4項目に絞り、
文書での回答を求めました。

労働環境と区民生活改善 の要望書

●公契約条例の制定

昨年6月に開催された第2回
豊島区議会定例会において、高
原区長より「公契約条例の策定
について検討していきたい」と、
答弁がされました。

区労協としても永年要望して
きたもので条例制定に向けて動
き出したことに感謝いたします。

いうまでもなく、公契約条例
は自治体が発注する公共工事や
業務委託など事業に従事する労
働者に公正な賃金と労働条件を
確保するとともに、公共工事や
サービス品質の向上をめざすも
のです。その趣旨に沿った条例
策定に向け、条例制定に際して
は審議会を設けて検討を進める
ことと、条例制定後も継続的な
審議会を設置し条例の実効的な
運用がはかられるよう要請いた
します。また、審議会には労働
組合からも審議員を選出するよ
う要望いたします。

●豊島区に働くすべての 職員の労働条件の向上 について

豊島区では正規職員とともに、
多くの会計年度職員が日々区民
福祉の向上に向け働いています。

2020年度からは、これまで
非常勤職員・臨時職員として働
いてきた職員が、新たに会計年
度職員として位置付けられました。

この間、一時金（ボーナス）
も支給され、更新限度も撤廃さ
れるなど、会計年度任用職員の
労働環境が改善されてきている
と聞いております。

しかし、有給の病気休暇は5
日間しかなく、経験加算制度が
ないため何年働いても経験に応
じた昇給がなく、退職手当もな
いなど、解決が求められる課題
が多く残っています。

引き続き処遇の改善を進め、
会計年度任用職員が安心して働
き続けられる労働条件を保障し
て、区民の生活と福祉を守る仕
事に邁進できる労働環境の整備
を要請します。



●教職員の労働環境の改 善について



先ごろ、豊島区でも教職員の
欠員がテレビ報道等で報じられ
ています。このような欠員状況
は、ただでさえ長時間労働によ
る疲弊が問題視されている教職
員の労働環境をさらに悪化させ
ている状況です。そして子供の
教育への影響も大変危惧される
ところです。東京都の教員採用
受験者はかつてなく下がってい
るとも報じられているところで
すが、この背景には教職員の過
酷な労働環境があることは明ら
かです。

つきましては、東京都に教職
員の労働環境改善のために働
きかけること、そして豊島区と
してできる対応の改善を要望い
たします。

●公園利用拡充について

豊島区労協では、デモ行進の
際にその出発地として区立公園

を利用させていただいています。

しかし、現在は東池袋中央公
園などに限定されているために
デモ行進ルートが限定されてい
る状況です。デモ行進出発地と
して東池袋公園の他に西池袋公
園、解散地として南池袋公園な
どについて使用することについ
て検討をお願いいたします。

また、区民の貴重なオープンス
ペースでもある公園を様々な形
で利用することについて検討を
お願いいたします。

春闘勝利 3・13「春 の北部共同行動」

日時:3月13日(木)

18時30分～

会場:東池袋中央公園

(サンシャイン60隣接)

★労働者団結の力で春闘に勝
利し、国民本位の政治を！

3・13重税反対全国 統一行動

日時:3月13日(木)

13時30分～

会場:西池袋中央公園

(豊島税務署前の公園)

●内容:池袋警察署前に移動し
パレード。14時より集団申告

第21回自治体キャラバンを実施

区内労働者の賃金労働条件の改善を求める

東京春闘共闘・豊島春闘共闘の取り組みとして毎年実施してきた「自治体キャラバン」も今年で21回目を迎えました。

1月21日(火)に、豊島区当局と行いました。区側からは契約課長、人事課長をはじめ7名の理事者が出席。

組合は東京春闘共闘から4名、豊島春闘共闘からは6名(東京土建豊島・公務公共一般豊島・豊島文京民主商工会・区労協)が参加しました。

意見交換では事前に区側から回答を得ていた「アンケート回答」についてやりとりが交わされました。豊島区が昨年6月に公契約条例制定を進めると表明したことから、賃金の下限額を定めるなど規制型の条例制定を求め、豊島区関連職場で働く労働者の処遇改善に役立つ条例の制定を求めました。

公契約条例に関わって土建豊島からは「条例策定にあたり審議会を設けること」「制定後も審議会を継続し条例の適正な

執行を進めること」「審議会には土建の推薦枠を設けること」を求めました

この要請に対して契約課長からは、「条例は25年度中に制定し、26年度の契約から始めたいと考えている。今後審議会を設置し審議したい。現在は先進自治体の条例等について調査している」など要請を踏まえた回答がありました。

公務公共一般豊島支部からは、「経験加算制度」撤廃について謝辞を述べるとともに、会計年度任用職員の病気休暇の有給日数増や経験加算制度の導入など、処遇改善について要請しました。民商からはより良い商工行政について申入れました。



核兵器禁止条約発効日 宣伝の取り組み報告

核兵器禁止条約が2021年に発効してから4周年となる1月22日(水)に、憲法東京共同センター・東京原水協・豊島原水協・東京被団協(東友会)は共同の宣伝行動を実施しました。

12時〜13時の1時間の取り組みに、14団体28人が参加し、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名44筆を集めました。(豊島からは新婦人豊島支部3人、豊島原水協2人が参加)

東友会の石飛公也監事は、被爆の恐ろしい実相と戦後の被爆者差別の歴史を解説しました。また、被爆者ががんや白血病などの病気が高いことに触れ、「80年たったいまでも恐怖に怯えている」と話しました。

「教職員と教育を守る アクション」の実施報告

1月15日(水)17時45〜18時30分まで、大塚駅北口で宣伝行動を実施し、17人が参加しました。

アクションは東京地評と都教組の共同で取り組み、全都で実施されたものです。宣伝では都教組豊島支部長がマイクをにぎり豊島区の学校職場の教員の欠

員状況など過酷な職場実態の改善を呼びかけました。

宣伝では子育て世代の女性が立ち止まり署名に協力する姿が見受けられ関心の高さを感じる宣伝でした。チラシ入りティッシュ400枚を配布し、ゆきとどいた教育署名6筆を集めました。

「教職員と教育を守る アクション」に参加して 都教組豊島支部 飯田 豊照

学校現場がブラック職場と言われ、教師のなり手もどんどん減っている中で「学校を守ろう!先生を増やそう!」と、全国で宣伝活動が行われました。

風も強く大変寒い中、区労協加盟の皆さんと共に17名の参加で、大塚駅北口でチラシを400枚配布し署名も6筆集めることができました。

何より嬉しかったのは、加盟組合の方々が自分事のように、横断幕を持つてずっと立っていただいたり、チラシを配っていただいたことです。

また、仲間がマイクで訴える前を通りかかった保育園帰りらしい子が「大きくなったら先生になるんだ」とつぶやいていたことがありがたく、励みになりました。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。



区労協旗開き 20団体・44人が参加

1月31日(金)に池袋北口の「地球飯店」で開催した「区労協旗開き」には、20団体・44人が参加して交流を深め、闘う決意を固めあいました。
